

小売業

株式会社ダイエー南砂町スナモ店（本社東京都）

取り組み内容

立って作業を行っていたスーパーマーケットのレジに、軽く腰を掛けられるイスを設置。接客の合間など、座っての待機を可能に。また、お客さまに取り組みを周知するため、レジ周辺に理解を求めるポスターを掲示している。



事業者の声

働きやすい職場を目指している中で、レジへのイスの設置の取り組みを知り、試験的に導入しました。最初は座ったままの接客を想定していましたが、レジを通す際は立った方がやりやすいとの声もあり、現在はイスに座るタイミングは従業員個々の判断に任せています。また、この取り組みをお客さまへ周知したことで、お客さまの目を気にせず、待機時間などに座っている様子を目にします。試験的な導入が従業員に好評だったことを受け、9月に関東の有人レジのある全79店舗へ導入しました。また、近畿の全店舗へも来年度以降導入する予定です。その他、身だしなみを自由な服装へと見直したことで、スニーカーなどの着用により、足が楽になったとの声が上がっています。将来的には、足腰に不安があってもレジ業務に就けるよう、全ての作業をイスに座ってできないか、検討しています。

現場の労働者の声

レジ業務は3時間以上は立ったまま同じ姿勢が続くため、腰痛持ちの私にとっては、負担が大きい作業でした。レジにイスを設置すると聞いた際、最初は立って接客するという私自身の固定概念と、お客さまからのクレームが怖く、座ることを躊躇しましたが、ポスター掲示のおかげでクレームもなく、一度座ると思った以上に楽で、今では10分に一度は一息入れています。

イスは自分に合う高さ調整して座ることができ、脚も工夫されており移動の邪魔になりません。立って座ってを適度に繰り返すことで、身体的な負担軽減や集中力のアップに加え、座れる安心感から、心理的なストレスの軽減も感じています。お客さまからは「座れるようになってよかったね」との声もかけていただき、今後、他店へも設置が進むとよいと思っています。



参照

その他の取り組み

足腰の負担軽減対策でレジの足元にクッション性のあるマットを設置。レジ以外には、可動式の陳列棚の導入により、品出しの作業効率を上げるとともに、中腰姿勢の時間削減で腰痛対策につなげている。



(ご参考) 株式会社ダイエーHP
https://www.daiei.co.jp/corporate/release_detail/1641